

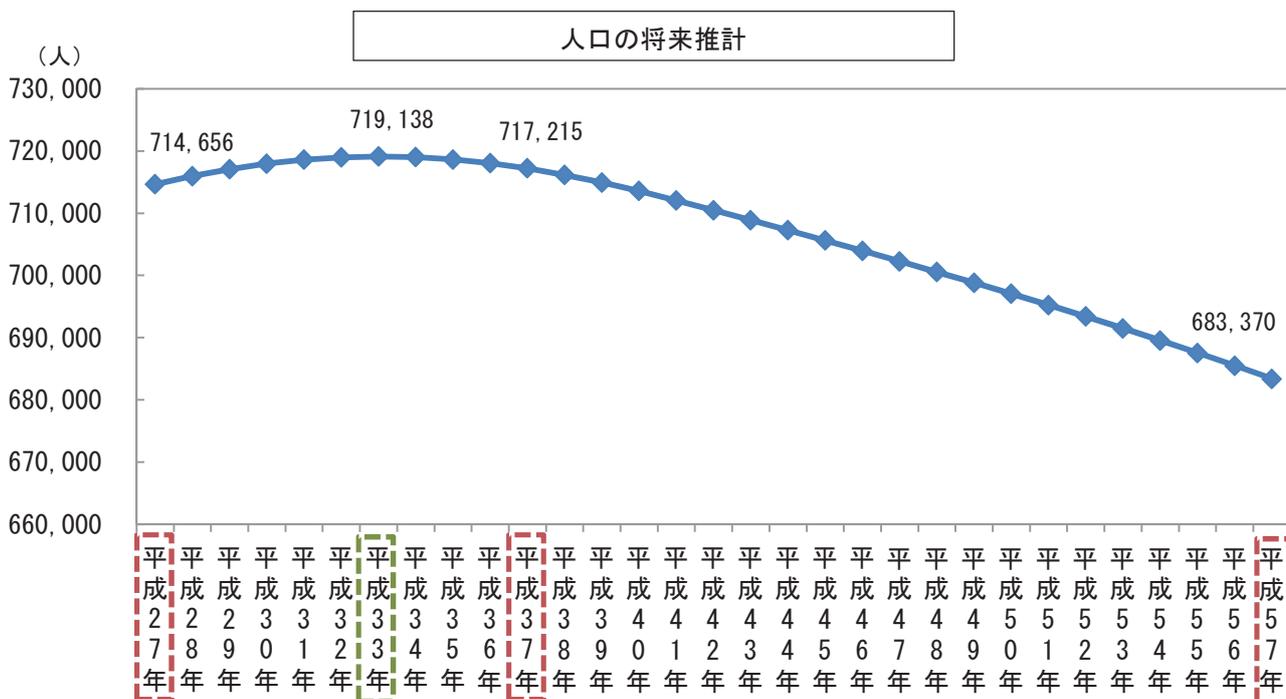
# 1 練馬を知る

## 1-1 人口特性・土地利用

### ① 人口特性

～都内2位の人口を擁する住宅都市～

- ・ 数十年に渡って堅調な人口増加が続いており、平成27年1月1日現在350,732世帯、714,656人が暮らしています。東京都内では世田谷区（約86万人）に続き2番目に人口が多くなっています。
- ・ 平成22年1月から平成27年1月の住民基本台帳人口の実績に基づき将来人口推計を行ったところ、平成33年頃までは人口増加が続いていくと推計されており、10年後の平成37年には717,215人、30年後の平成57年には683,370人になると見込まれています。
- ・ 年齢構成をみると（平成26年1月1日現在）、生産年齢人口（15～64歳）と高齢者人口（65歳以上）の割合は、それぞれ66.7%、20.8%で、都や区部の値と同程度となっていますが、年少人口（0～14歳）の割合は12.5%と都や区部より高いという特徴があります。
- ・ 18歳未満の子どもがいる一般世帯は65,438世帯で、周辺都市と比較して子どもがいる世帯の割合が高くなっています。
- ・ 昭和60年からの年齢3区分の推移をみると、高齢者人口が大きく増加しており、今後、さらに高齢化が進展していくことが見込まれます。



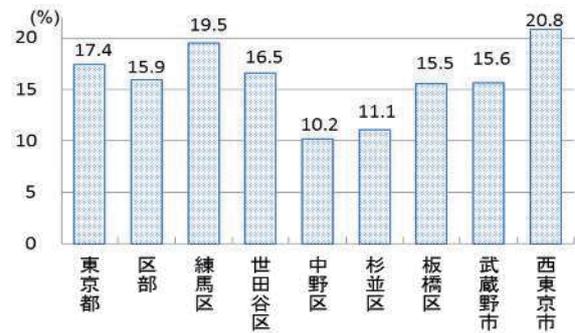
[出典] 練馬区企画部資料

年代3区分割合（周辺都市比較）



[出典] 東京都統計及び各区市の住民基本台帳  
(平成26年1月1日現在)

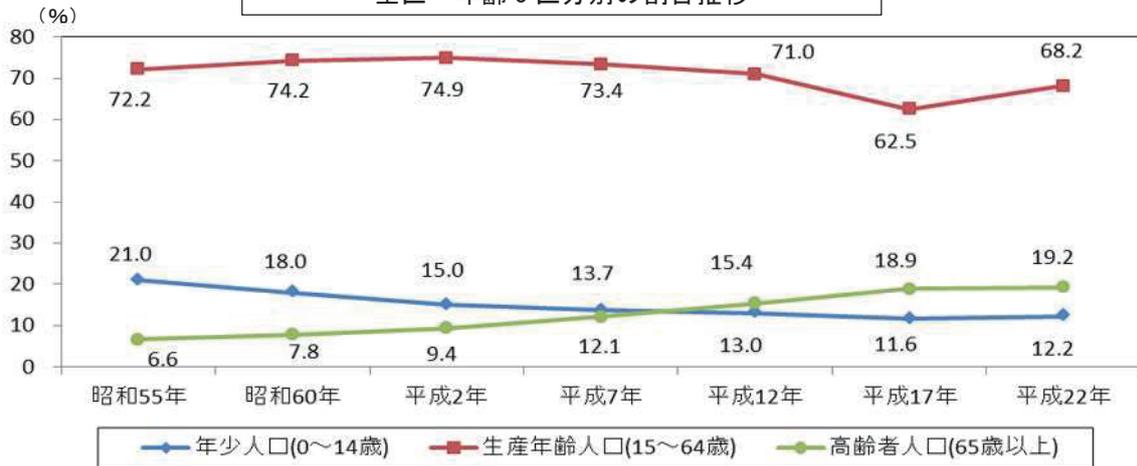
18歳未満世帯員のいる世帯（周辺都市比較）



自治体	東京都	区部	練馬区	世田谷区	
世帯数	1,110,203	720,987	65,438	74,199	
自治体	中野区	杉並区	板橋区	武蔵野市	西東京市
世帯数	18,724	33,459	42,292	11,124	18,179

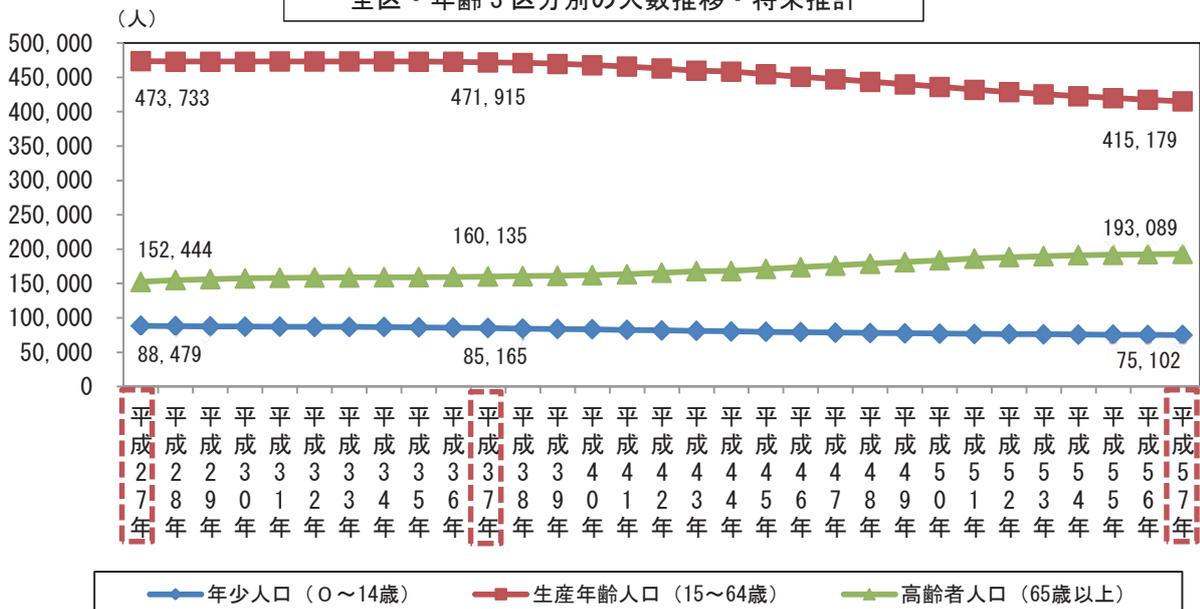
[出典] 東京都統計及び各区市の住民基本台帳  
(平成26年1月1日現在)

全区・年齢3区分別の割合推移



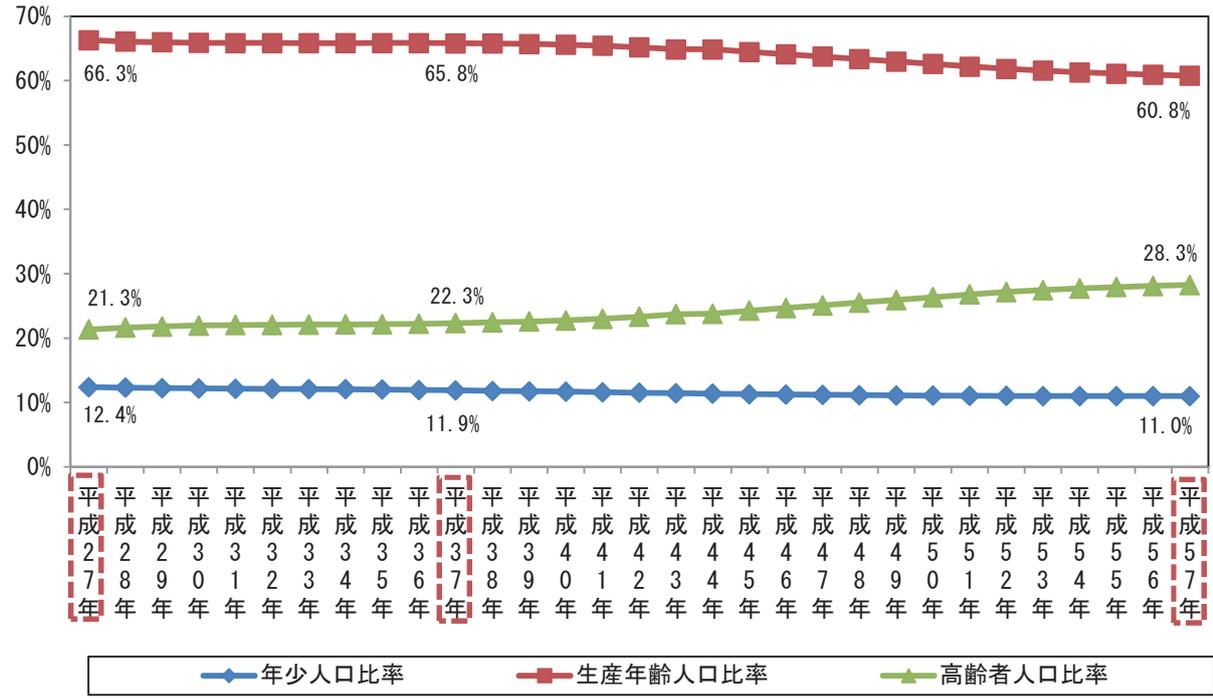
[出典] 国勢調査

全区・年齢3区分別の人数推移・将来推計



[出典] 練馬区企画部資料

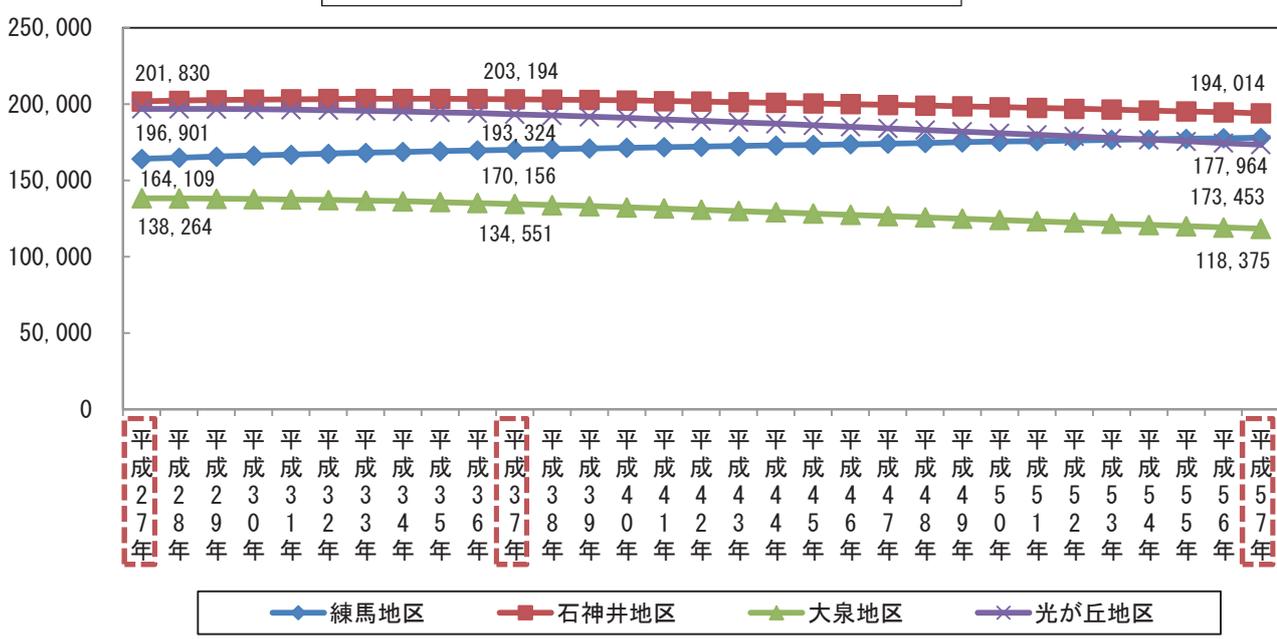
全区・年齢3区分別の割合の推移・将来推計



[出典] 練馬区企画部資料

- 人口推計における4地区別の人口の推移を見ると、練馬地区ではいずれの年齢区分においても増加傾向を示していますが、石神井、大泉、光が丘地区では高齢者人口が増加する一方で、年少人口、生産年齢人口が減少していきま。また区全体の推移と比較すると、大泉、光が丘地区での減少が大きいことがわかります。なお、人口割合の推移を見ても、練馬地区では生産年齢人口割合が増える一方で、大泉地区では減っていることがわかります。
- 高齢化率は、中村南・中村北・氷川台・平和台・栄町・高松などで低く、光が丘・大泉町・南田中・大泉学園町などで高いなど、地域ごとに違いがあります。

地区4区分別の人口の推移・将来推計



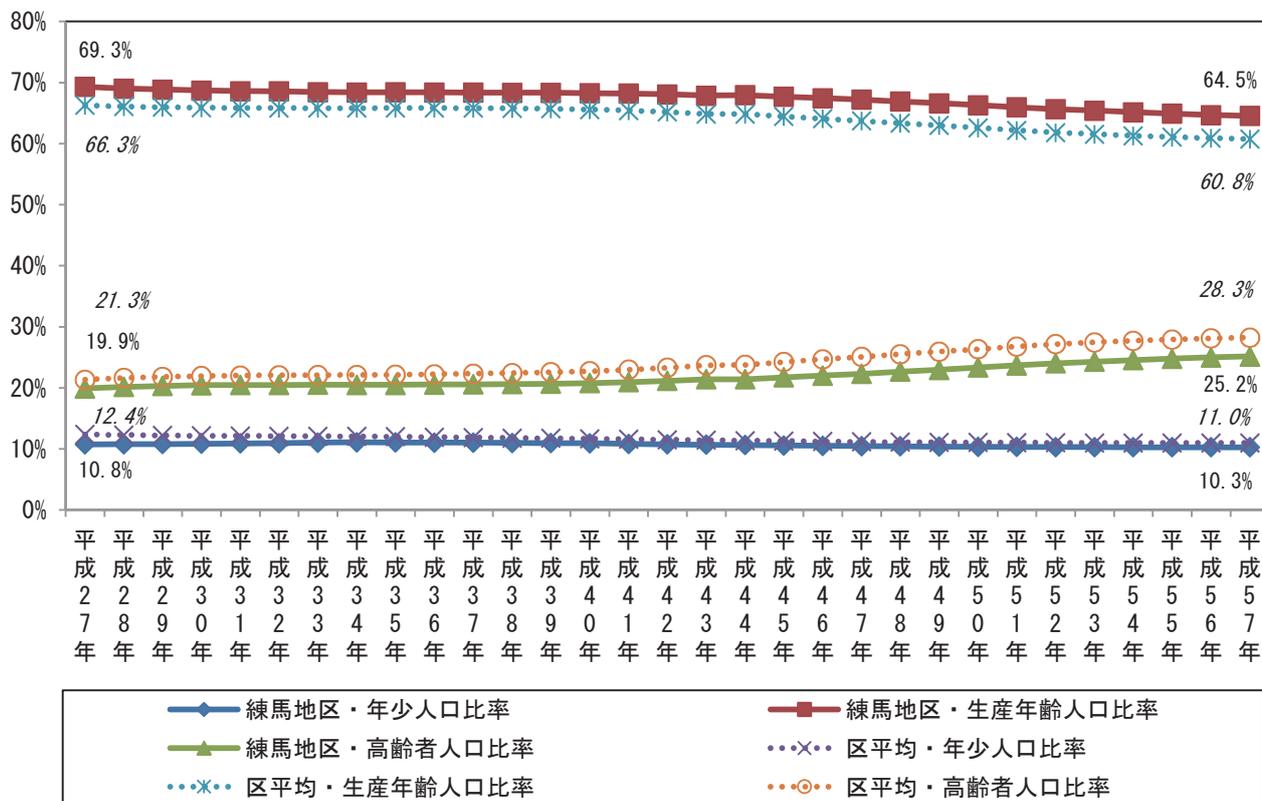
[出典] 練馬区企画部資料

地区及び年齢3区分別の対平成27年比・対区平均差の推移・将来推計

	平成37年		平成47年		平成57年		平成67年		平成76年	
	対27年比	対区平均	対27年比	対区平均	対27年比	対区平均	対27年比	対区平均	対27年比	対区平均
<b>区全体</b>	<b>100.4%</b>		<b>98.3%</b>		<b>95.6%</b>		<b>92.0%</b>		<b>88.0%</b>	
年少人口（0～14歳）	96.3%		88.8%		84.9%		82.0%		78.9%	
生産年齢人口（15～64歳）	99.6%		94.5%		87.6%		84.0%		81.6%	
高齢者人口（65歳以上）	105.0%		115.6%		126.7%		122.7%		113.1%	
<b>練馬地区</b>	<b>103.7%</b>	<b>3.3%</b>	<b>106.1%</b>	<b>7.8%</b>	<b>108.4%</b>	<b>12.8%</b>	<b>109.7%</b>	<b>17.7%</b>	<b>110.0%</b>	<b>22.0%</b>
年少人口（0～14歳）	106.4%	10.2%	103.4%	14.6%	103.8%	19.0%	106.9%	24.9%	109.3%	30.4%
生産年齢人口（15～64歳）	102.3%	2.6%	102.9%	8.4%	101.0%	13.3%	100.8%	16.7%	102.8%	21.2%
高齢者人口（65歳以上）	107.2%	2.2%	118.8%	3.3%	136.9%	10.3%	142.3%	19.6%	135.6%	22.4%
<b>石神井地区</b>	<b>100.7%</b>	<b>0.3%</b>	<b>98.9%</b>	<b>0.6%</b>	<b>96.1%</b>	<b>0.5%</b>	<b>92.2%</b>	<b>0.2%</b>	<b>87.7%</b>	<b>-0.3%</b>
年少人口（0～14歳）	97.0%	0.7%	89.4%	0.6%	85.3%	0.4%	82.3%	0.2%	78.7%	-0.2%
生産年齢人口（15～64歳）	100.0%	0.4%	94.6%	0.1%	87.0%	-0.6%	83.3%	-0.8%	80.7%	-0.9%
高齢者人口（65歳以上）	104.8%	-0.2%	117.1%	1.5%	129.6%	2.9%	124.7%	2.0%	113.7%	0.5%
<b>大泉地区</b>	<b>97.3%</b>	<b>-3.0%</b>	<b>91.6%</b>	<b>-6.7%</b>	<b>85.6%</b>	<b>-10.0%</b>	<b>79.2%</b>	<b>-12.8%</b>	<b>72.5%</b>	<b>-15.5%</b>
年少人口（0～14歳）	89.0%	-7.3%	78.9%	-9.9%	73.9%	-11.0%	69.5%	-12.6%	63.6%	-15.3%
生産年齢人口（15～64歳）	98.1%	-1.5%	87.9%	-6.6%	76.5%	-11.1%	71.9%	-12.1%	67.5%	-14.1%
高齢者人口（65歳以上）	100.0%	-5.0%	108.8%	-6.8%	116.4%	-10.2%	104.1%	-18.6%	90.9%	-22.2%
<b>光が丘地区</b>	<b>98.2%</b>	<b>-2.2%</b>	<b>93.5%</b>	<b>-4.8%</b>	<b>88.1%</b>	<b>-7.5%</b>	<b>82.2%</b>	<b>-9.9%</b>	<b>76.4%</b>	<b>-11.6%</b>
年少人口（0～14歳）	93.4%	-2.8%	84.9%	-3.8%	78.9%	-6.0%	73.1%	-9.0%	68.5%	-10.4%
生産年齢人口（15～64歳）	96.5%	-3.1%	89.0%	-5.4%	80.7%	-7.0%	74.4%	-9.6%	69.3%	-12.3%
高齢者人口（65歳以上）	106.1%	1.1%	112.5%	-3.1%	116.6%	-10.0%	111.7%	-11.1%	103.1%	-10.0%

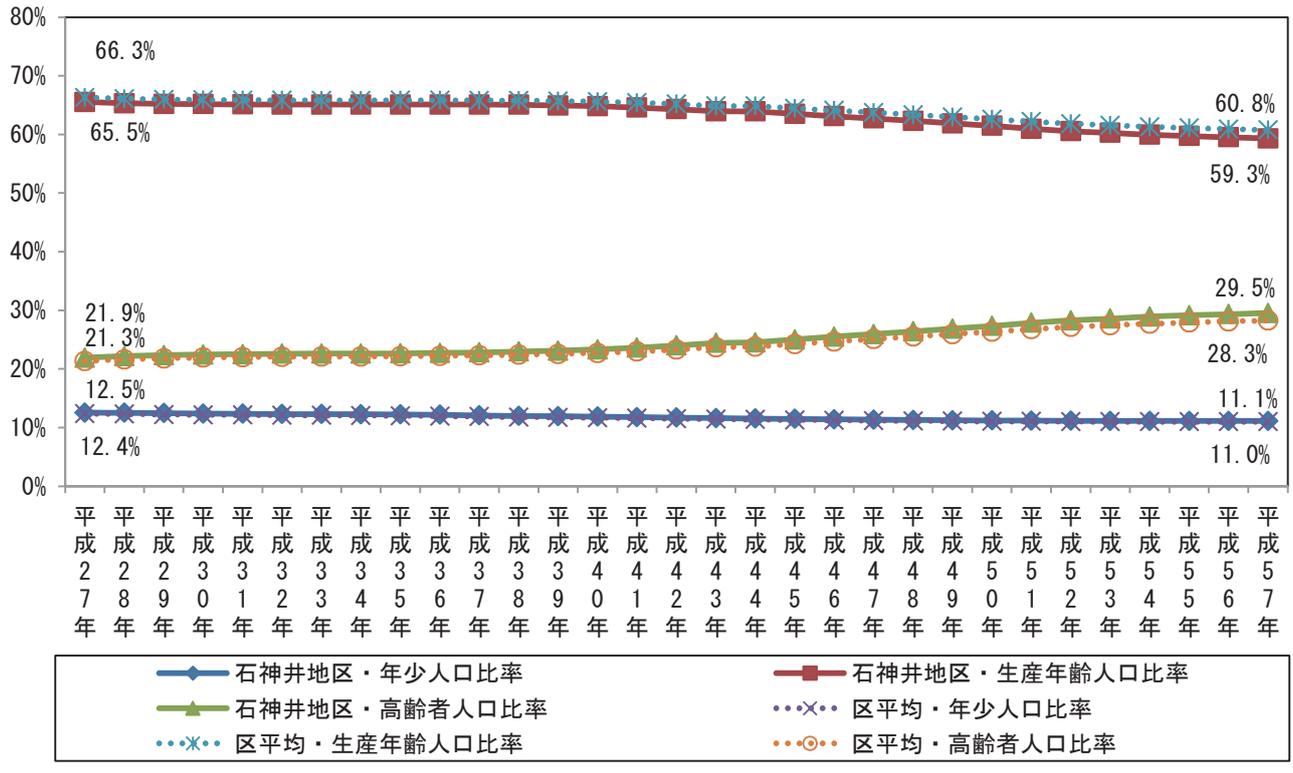
[出典] 練馬区企画部資料

練馬地区・年齢3区分別の割合推移・将来推計



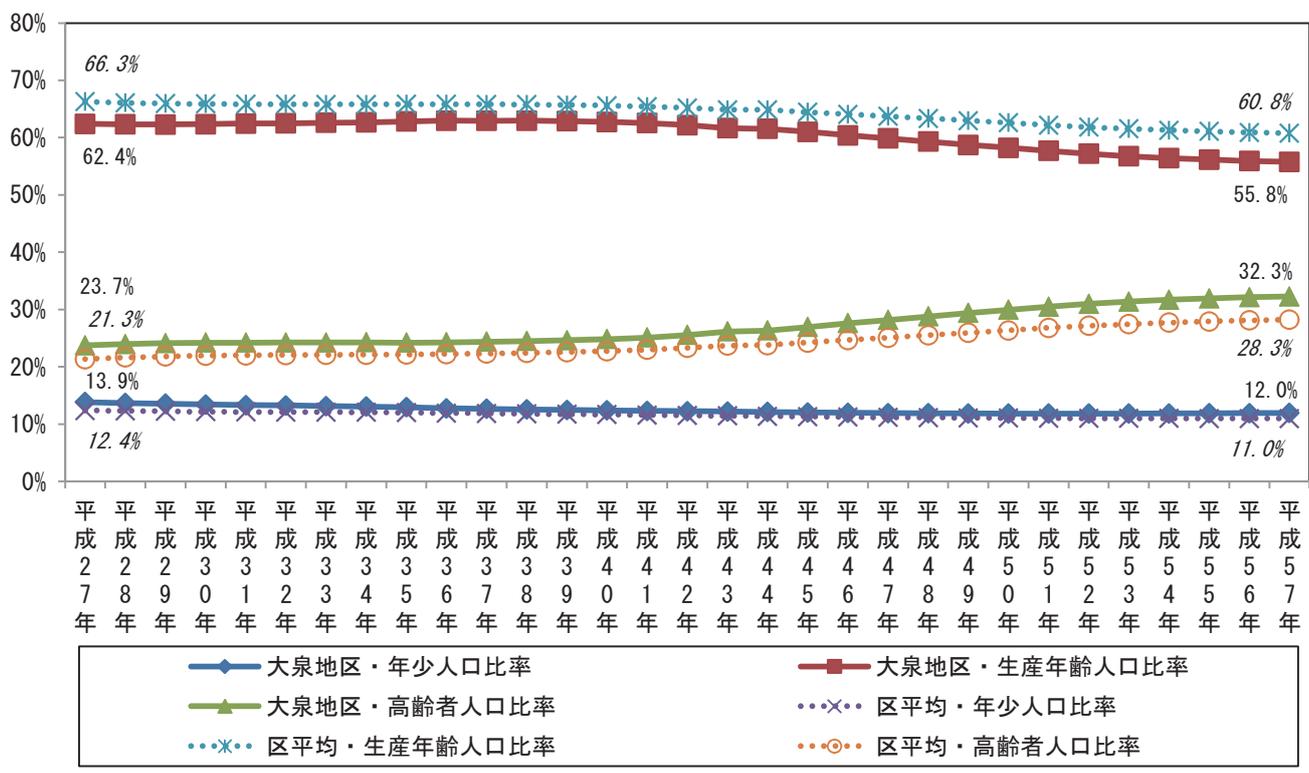
[出典] 練馬区企画部資料

石神井地区・年齢3区分別の割合推移・将来推計



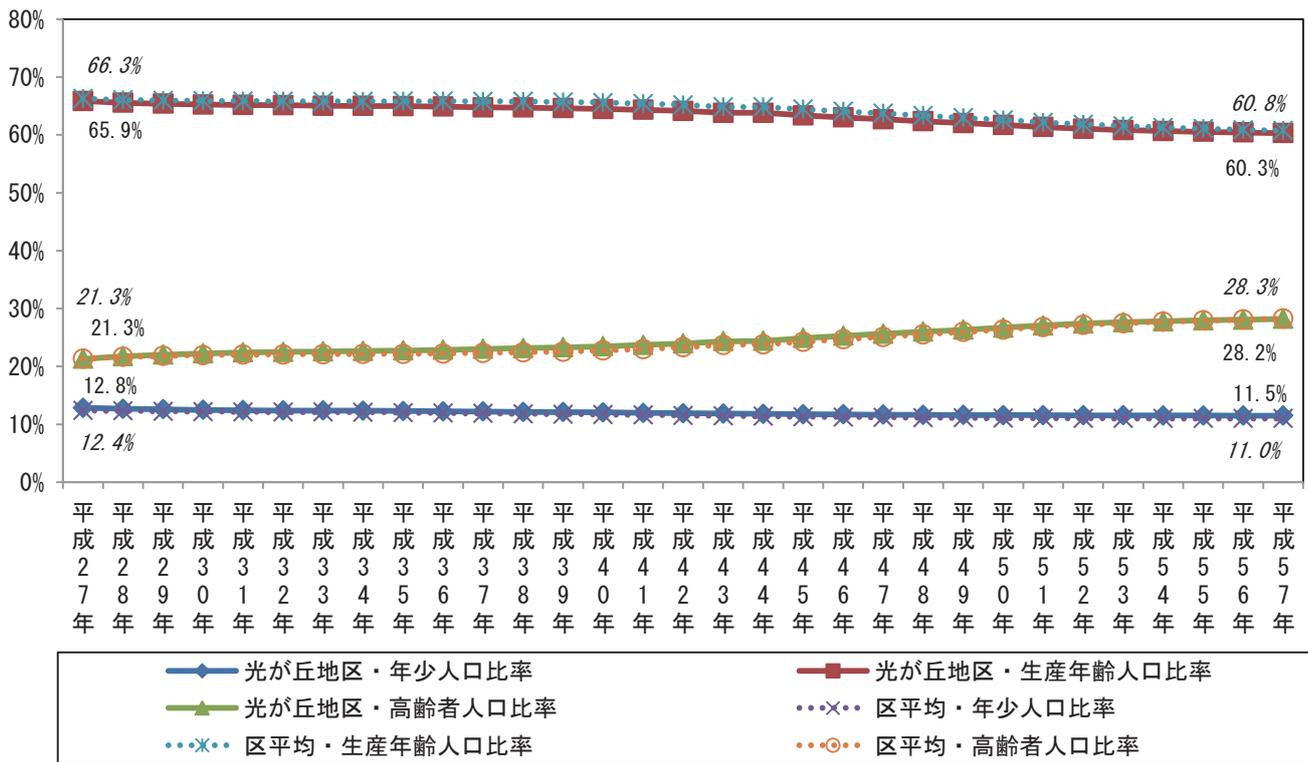
[出典] 練馬区企画部資料

大泉地区・年齢3区分別の割合推移・将来推計



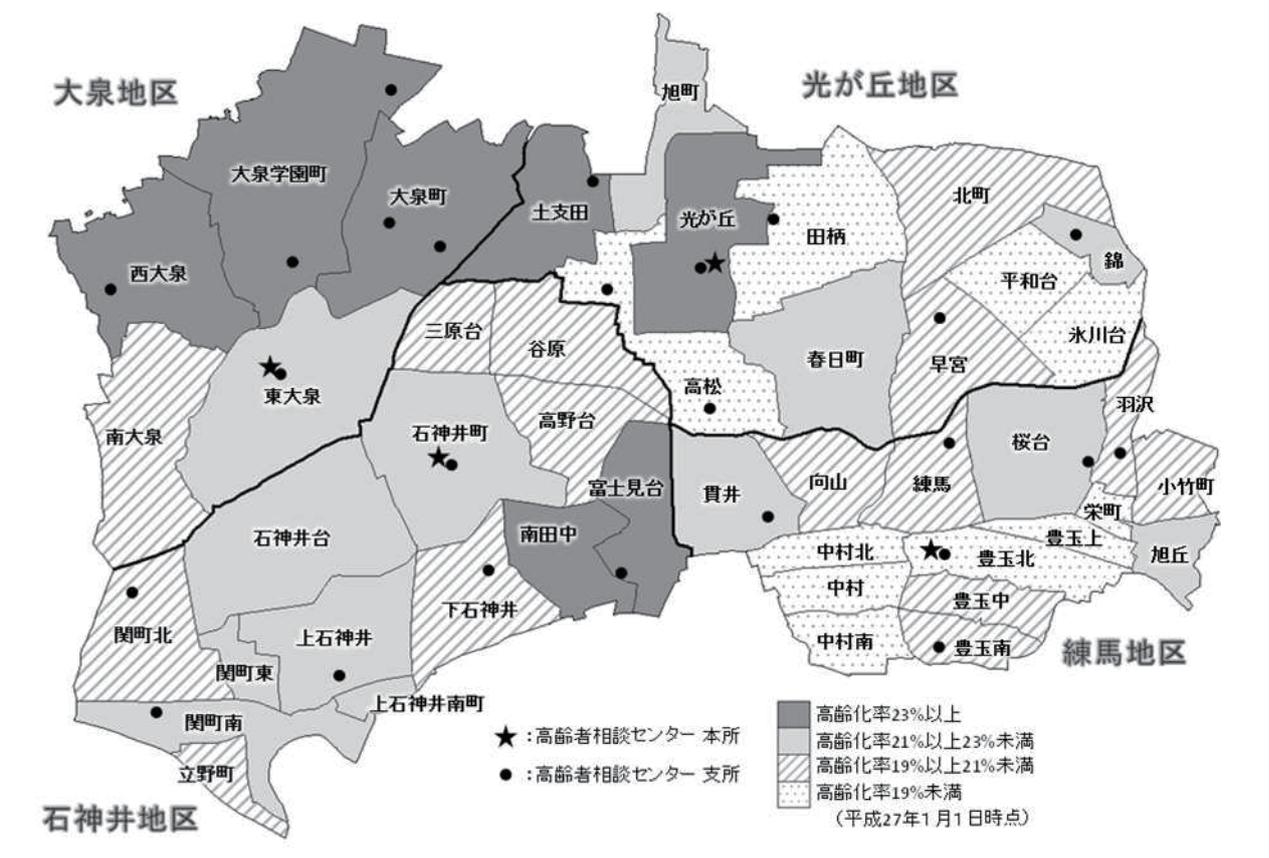
[出典] 練馬区企画部資料

光が丘地区・年齢3区分別の割合推移・将来推計



[出典] 練馬区企画部資料

区内の高齢化の状況 (町別比較)



[出典] 練馬区福祉部資料 (平成27年1月1日現在 住民基本台帳人口による)

- 住宅都市の特徴として、二世帯世帯（夫婦とその子ども）等のいわゆるファミリー層の占める割合が大きくなっていましたが、平成12年から平成22年にかけて増加した52,199世帯の内訳をみると、核家族世帯が16,578世帯増、その他の親族世帯が3,144世帯減、非親族世帯が1,797世帯増、単独世帯が36,968世帯増となっており、単独世帯の増加が著しくなっています。
- 昼夜間人口比率は、平成22年現在82.1%で、23区で最も低く東京都や区部の値118.4%、130.9%を大きく下回っています。23区で90%を下回っているのは、江戸川区84.1%、葛飾区85.0%、杉並区87.4%、足立区89.1%の計5区で、住宅都市としての特徴が表れています。昼夜間比率を年齢別・男女別にみると、区外へ通勤する人は、男性は40代、20歳代前半、50歳代前半、女性は20代が特に多いと考えられます。

人口増加が続き、都内で2番目に多い人口を擁し、ファミリー層の多い住宅都市という地域特性を踏まえた施策を検討・推進していくことが求められます。

家族構成の変化  
(10月1日現在)

	平成12年	平成22年	増減数 (H12→ H22)
総数	283,753	335,952	52,199
核家族世帯	159,481	176,059	16,578
夫婦のみ	51,071	61,195	10,124
夫婦と子供	87,288	88,960	1,672
男親と子供	3,229	3,662	433
女親と子供	17,893	22,242	4,349
その他の親族世帯	16,610	13,466	▲ 3,144
単独世帯	105,843	142,811	36,968

[出典] 国勢調査

昼夜間人口比率と年齢別・男女別昼夜間人口比率  
(都・区部比較)(%)

No.	自治体	昼夜間人口 比率(%)	練馬区	区部	東京都
	男性		78.8	143.4	125.5
-	東京都	118.4			
-	区部	130.9			
1	千代田区	1738.8			
2	中央区	493.6			
3	港区	432.0			
4	渋谷区	254.6			
5	新宿区	229.9			
6	台東区	167.5			
7	文京区	167.2			
8	豊島区	148.6			
9	品川区	144.3			
10	江東区	119.1			
11	墨田区	112.8			
12	目黒区	109.3			
13	大田区	98.7			
14	北区	95.8			
15	荒川区	94.3			
16	世田谷区	92.7			
17	板橋区	92.1			
18	中野区	91.9			
19	足立区	89.1			
20	杉並区	87.4			
21	葛飾区	85.0			
22	江戸川区	84.1			
23	練馬区	82.1			
	女性		85.3	118.8	111.4
	15歳未満		98.0	101.2	100.9
	15～19歳		68.9	132.5	119.6
	20～24歳		68.4	148.8	131.5
	25～29歳		72.8	143.9	127.1
	30～34歳		74.5	153.1	132.6
	35～39歳		74.2	162.2	137.1
	40～44歳		68.4	167.2	139.1
	45～49歳		66.3	171.0	141.2
	50～54歳		66.7	172.0	141.7
	55～59歳		71.5	172.0	141.9
	60～64歳		81.6	154.9	131.8
	65歳以上		94.4	112.9	106.9

[出典] 平成22年国勢調査

65歳以上の者がいる世帯数と  
そのうち単身者で構成されている世帯数の  
割合(各年1月1日現在)

	65歳以上の者が 1人以上いる 世帯(A)	うち単身者で 構成されてい る世帯(B)	単身者の 割合 (B/A)
平成15年	79,921	26,055	32.6%
平成16年	82,160	27,324	33.3%
平成17年	84,656	28,726	33.9%
平成18年	87,293	30,252	34.7%
平成19年	90,050	31,671	35.2%
平成20年	92,749	33,390	36.0%
平成21年	95,442	35,185	36.9%
平成22年	97,710	36,717	37.6%
平成23年	98,757	37,956	38.4%
平成24年	100,583	39,490	39.3%
平成25年	104,527	41,611	39.8%
平成26年	107,781	43,753	40.6%
平成27年	110,751	45,928	41.5%

[出典] 住民基本台帳